

調査速報

外食需要動向（2019年4月）

外食産業の客数が2か月連続で
前年の水準を下回る

主任研究員

佐橋 官

045-225-2375

sahashi@yokohama-ri.co.jp

要約

- 2019年4月の全国の1世帯あたり実質外食支出は前月比4.9%増（前年同月比5.6%増）と高い伸びになった。品目別に外食支出金額の前年同月比寄与度の変化をみると、宅配ピザや宅配寿司が含まれる「他の主食的外食」の寄与が大きくなっており、外食の宅配サービスの利用増加などが家計の外食支出全体を押し上げた可能性が考えられる。
- 4月の外食産業売上高（名目値）は前年同月比1.7%増となり、32か月連続で前年の水準を上回った。
- 外食産業売上高の内訳をみると、客単価の伸びが売上高を押し上げた一方、客数が2か月連続で前年の水準を下回った。

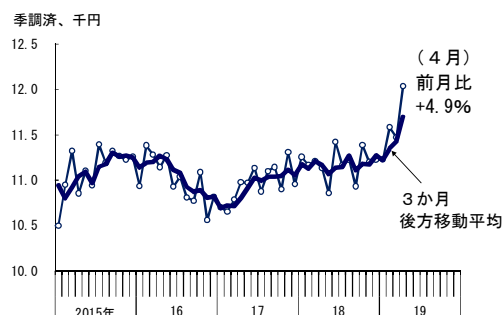
1. 4月の家計の実質外食支出は高い伸び

総務省「家計調査」によると、2019年4月の全国の1世帯あたり実質外食支出（用途別分類、2人以上の世帯、学校給食を除く、季調済）は前月比4.9%増（前年同月比5.6%増）と高い伸びになった（図表1）。品目別に外食支出金額の前年同月比寄与度の変化をみると「他の主食的外食」の寄与が大きくなっている。これには宅配ピザや宅配寿司などデリバリーサービスの利用が含まれることから、外食の宅配サービスの利用増加などが家計の外食支出全体を押し上げた可能性も考えられ、今後の動向を注視する必要がある。

2. 外食産業の客数が2か月連続で前年割れ

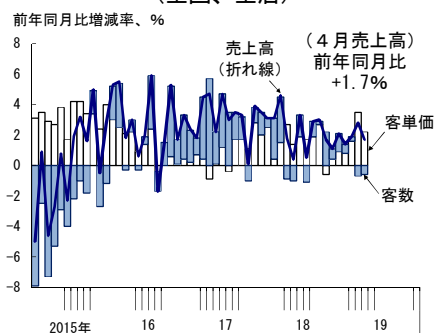
一般社団法人日本フードサービス協会が発表した「外食産業市場動向調査」によると、大手外食チェーンの4月の外食産業売上高（名目値）は前年同月比1.7%増となり、32か月連続で前年の水準を上回った（図表2）。売上高の内訳をみると、客単価（同2.2%増）の伸びが売上高を押し上げたものの、客数（同0.6%減）は前年の水準を下回った。客数の前年割れは2か月連続で、前月（19年3月）の減少は主として大手アイスクリーム・チェーン（「その他ファストフード」に該当）が前年に実施した大規模キャンペーン効果の反動という特殊要因によるものであった。しかし、当月はこの特殊要因に加えて、「ファミリーレストラン」や「パブ・居酒屋」、「ディナーレストラン」など多くの業態で客数が前年水準を下回っており、外食産業全体で客数が減少した（次頁、図表3）。

図表1 実質外食支出は前月比急拡大
（全国、2人以上の世帯、季調済）



注1：総務省「家計調査」の用途別分類「一般外食」。
注2：実質化と季節調整は浜銀総合研究所が実施。
出所：総務省「家計調査」より浜銀総合研究所作成

図表2 外食産業売上高は前年同月比プラスを維持
（全国、全店）



注1：全店とは、既存店と新規店の合計。
注2：売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。
出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

3. ディナーレストランも41か月ぶりに客数が減少に転じた

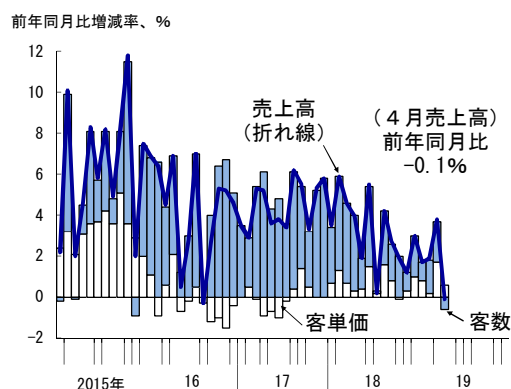
業態別の客数の動きをみると、当月注目すべきは「ディナーレストラン」が前年同月比0.6%減と41か月ぶりに前年の水準を下回ったことである（図表4）。この点、一般社団法人日本フードサービス協会の資料によれば、平日の法人需要が低調であったと報告されている。また、「ファミリーレストラン」の客数（同1.3%減）も4か月ぶりに前年同月の水準を下回った（図表5）。「焼き肉」の客数の伸びが鈍化し、また「和風」と「洋風」の客数の落ち込み幅が拡大したことなどから、「ファミリーレストラン」全体の客数が前年割れに転じた。さらに、「パブ・居酒屋」の客数も4か月ぶりに前年割れとなった。

一方、「ファストフード」の客数は前述の特殊要因により2か月連続で前年割れとなったが、当月の減少率（同0.3%減）は他業態と比べると軽微に留まった（図表6）。内訳をみると、「和風」（同1.4%増）と「洋風」（同0.2%増）の客数が前年水準を上回っており、両業態では期間限定メニューや季節メニューの投入などが客単価の上昇だけでなく、集客面においても奏功したと推察される。

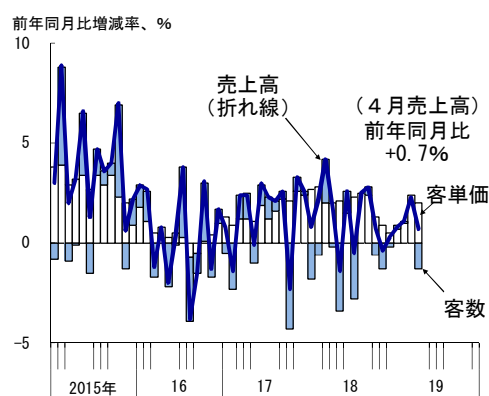
図表3 業態別の外食産業売上高（2019年4月、全店）

（前年同月比増減率）					
業 種	店舗数	売上高	店舗数	客数	客単価
全 体	35,763	1.7%	0.3%	-0.6%	2.2%
ファストフード	19,461	2.7%	0.7%	-0.3%	3.0%
洋 風	6,509	3.4%	0.3%	0.2%	3.2%
和 風	5,192	4.9%	1.8%	1.4%	3.4%
麺 類	3,228	1.6%	1.8%	-0.4%	2.1%
持ち帰り米飯/回転寿司	1,943	2.1%	-1.7%	0.0%	2.1%
その他	2,589	-5.5%	0.1%	-12.4%	7.9%
ファミリーレストラン	9,629	0.7%	0.1%	-1.3%	2.0%
洋 風	4,914	-0.9%	-0.4%	-2.4%	1.5%
和 風	1,896	-0.4%	-0.9%	-3.2%	2.9%
中 華	1,423	4.9%	1.6%	3.9%	0.9%
焼き肉	1,396	3.4%	1.9%	1.8%	1.6%
パブ・居酒屋	2,366	-0.5%	-1.3%	-1.3%	0.8%
居酒屋	2,019	-0.6%	-1.4%	-2.3%	1.7%
ディナーレストラン	997	-0.1%	-1.9%	-0.6%	0.6%
喫茶	2,033	1.9%	0.3%	-0.1%	2.1%
その他	1,277	1.4%	0.7%	0.1%	1.3%

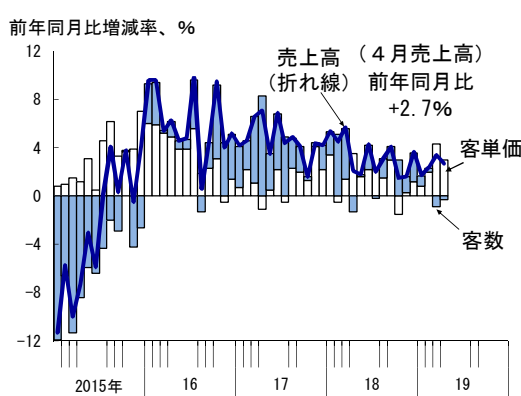
図表4 ディナーレストラン売上高の推移（全店）



図表5 ファミリーレストラン売上高の推移（全店）



図表6 ファストフード売上高の推移（全店）



注1：全店とは、既存店と新規店の合計。
 注2：売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。
 出所：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。